

法人（事業所）理念		こどもの生き抜く力を育み、あらゆるジリツ【自立、自律】を受け入れる共生社会の実現を目指します		
支援方針		自分らしく生き抜くために、人への信頼感をもち、自己肯定感・自己効力感を育みます。 ①表現・記憶力 ②思考・推理力 ③集中力 ④自己コントロールの力をつけ、一人でできることを増やすための支援を行っています。		
営業時間		平日 11：00～20：00 第一・第三土曜日 9：00～18：00	送迎実施の有無	送迎あり
		支援内容		
本人支援	健康・生活	・ こどもに応じた、日々の約束事（ゲーム時間や課題ができたかどうかなど）を決め、チェックを行います。 ・ 調理活動により、食生活や調理に対して興味を持ってもらいます。		
	運動・感覚	・ 正しい姿勢で学習に取り組めるようにしていきます。 ・ プリントやゲームを通じて目や指先の運動を行ったり、集団活動で室内でできる球技等を行ったりすることで体の使い方を学びます。		
	認知・行動	・ 毎回こども自身が目標設定・振返りを行うことで、時間やルールを意識させたり、達成できたことを褒めて、自己肯定感を育みます。 ・ 主に個別のプリント学習により、数量の概念や計算能力を習得できるよう支援します。 ・ 工作や調理活動により、完成をイメージしながら手順通りに作る経験をしてもらいます。		
	言語・コミュニケーション	・ 主に個別のプリント学習により、ひらがな・カタカナ・漢字の読み書き能力や語彙力を身に付けれるように支援します。 ・ 集団活動のゲームやプリント学習を通じて、相手に口頭や文章で自分の想いや考えを伝えられるように支援します。		
	人間関係・社会性	・ 個別に、日常生活での困りごと・人間関係のトラブルの振返りや、ソーシャルスキルトレーニングを行います。 ・ 集団活動全般を通じて、周囲への適切な声掛けや気持ちのコントロールの仕方を学んでもらいます。		
家族支援		・ その日に取り組んだ学習内容のデータを翌日保護者に送信しています。 ・ 教室で気になることがあれば保護者に報告し、聴き取りを行います。 ・ 子どもの発達上の課題についての気づきを促し、家庭と連携してその後の支援に取り組みます。 ・ 関係者・関係機関との連携による支援体制を構築します。		
移行支援		・ 具体的な意向を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。 ・ 他関連機関との連携をはかり、支援体制を構築します。		
地域支援・地域連携		・ 地域の公共施設を利用し、地域資源を活用しています。 ・ 学校、福祉サービス等と連絡を取ったり連携会議等を行って情報共有しています。		
職員の質の向上		・ 外部研修を年2回以上行い、こどもの特性に応じた対応や、学習への困難さに対する支援方法等について学びます。		
主な行事等		・ 平和学習（絵本の読み聞かせ、平和に対する考え等の発表） ・ ハロウィン、クリスマス（ゲーム・工作・調理などを実施）		